

2	適用規格							
	定 格	使用温度範囲	-40℃～+85℃（注1）		保存温度範囲		-10℃～+60℃（注3）	
		使用湿度範囲	40％～80％（注2）		保存湿度範囲		40％～70％（注3）	
		電 圧	AC/DC 250V		適合ケーブル		AWG 22～30	
		電 流	AWG 22：3.0A AWG 24：2.5A AWG 26：2.0A AWG 28：1.0A AWG 30：0.5A		適合圧着端子		DF11-****SC(F)(A)	
UL・CSA 定格	電圧				AC 30V			
	電流				AWG 22：2.0A AWG 24～28：1.0A AWG 30：0.5A			
性 能								
	項 目	試 験 方 法			規 格		QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。					○	○
電気的 性能	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。			1000 MΩ以上		○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—
機械的 性能	繰り返し動作	30回の抜き差しを行う。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3方向各2時間試験する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3方向各3回試験する。			破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
環境的 性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96時間放置する。			①絶縁抵抗：500 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15分 を5サイクル試験する。			①絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
備考								
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。								
(注2) 結露のないこと。								
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。								
	△の数	訂正記事		設計		検図		年月日
2	1	DIS-H-00004227		TS. MIYAKI		SZ. ONO		18.09.18
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512（対応規格JIS C 5402）を適用している。						承認	KJ. KATAYOSE	05.01.05
						検 図	TY. OMA	05.01.05
						担 当	IO. DENPOUYA	05.01.05
						製 図	IO. DENPOUYA	05.01.05
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番		SLC-080370-00-00		
HRS	製品規格表			製品名		DF11-4DS-2C		
	ヒロセ電機株式会社			製品コード		CL543-0568-6-00		
						2	1/1	